

広報資料

No.12-006

2012年6月21日

第14期決算および役員を選任について

アイベックスエアラインズ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：服部浩行）の第14期（平成24年3月期）決算について下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催されました定時株主総会にて下記のとおり取締役の選任がなされましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 営業実績

(単位：千円)

区分	前会計年度 (第13期)	当会計年度 (第14期)	増減
事業収益	8,406,605	8,827,810	421,205
経常利益	354,900	187,048	△167,852
当期純利益	234,894	165,001	△69,893
1株当たり当期純利益 (円)	2,796.36	1,964.29	△832.07
総資産	11,595,355	15,406,339	3,810,984
純資産	298,221	463,223	165,002

2. 事業の概況

当会計年度における我が国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、製造業の業績に一部下げ止まりがみられ、個人消費も堅調さを取り戻しつつあるなど緩やかに持ち直しはしておりますが、タイの洪水被害、欧州政府債務危機等を背景とした海外景気の下振れ懸念や原油価格の上昇、デフレ懸念等により先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況のもと、当社におきましては、東日本大震災の影響により運休を余儀なくされた路線を早期に再開させるべく、運航拠点を仙台空港から大阪国際空港（伊丹）に移設するなど運航体制の再構築に全力を挙げて取り組み、震災発生後6日でCRJ100/200型機の一部運航再開にこぎつけました。CRJ700NG型機については予備部品の全てが流失したため、その早期再調達等運航再開のための条件整備に努めると共に、7月からCRJ700NG型機の3機目を新たに路線投入し、中部国際空港・大分空港線2往復及び中部国際空港・仙台空港線1往復の運航を開始しました。また7月25日の仙台空港国内線定期便の運航再開に合わせ、当社も仙台空港における運航基地機能の再建を完了し全便の運航

を再開しました。当期末の運航路線は、12 路線、運航便数は 46 便/日となり、前期末の 11 路線、38 便/日に比し、1 路線、8 便/日増加しました。

この結果、事業収入は 8,827 百万円となり前年同期 (8,406 百万円) 比で 421 百万円 (5.0%) 増加しました。事業費は大幅な運休により変動費が減少した一方で、機数増加のほか、拠点の移設、体制の再建に出費が高んだ結果 8,532 百万円となり前年同期 (7,666 百万円) 比で 866 百万円 (11.3%) 増加しました。販売費及び一般管理費は 348 百万円となり前年同期 (299 百万円) 比で 48 百万円 (16.2%) 増加しました。営業損益は▲53 百万円となり前年同期 (440 百万円) 比で 493 百万円の減少でしたが、保険金収入等により経常利益は 187 百万円となり、前年同期 (354 百万円) 比で 167 百万円の減少、当期純利益は 165 百万円となり、前年同期 (234 百万円) 比で 69 百万円の減少となりました。

3. 今後の見通しと課題

会社の体質強化のため、安全運航に徹しつつ運航品質を高め、さらなる収益性の向上に努めます。機数の増加に備え、生産体制の強化を図るため運航乗務員、整備士等の有資格者を中心に人材育成を積極的に行います。

4. 取締役の選任について

第 14 期定時株主総会において以下のとおり取締役が選任され、その後の取締役会により以下のとおり役職が決定されました。

【取締役】

役職	氏名	備考
代表取締役会長	浅井 孝男	重任
代表取締役社長	服部 浩行	重任
取締役	坂口 健一	新任

なお、久保信一郎は取締役を退任し、監査役に就任いたしました。

5. 新任 取締役の氏名および略歴

- 役職名 : 取締役
- 氏名 : 坂口 健一 (さかぐち けんいち)
- 生年月日 : 昭和 47 年 4 月 28 日
- 略歴 : 平成 9 年 4 月 (株)日本デジタル研究所 (以下 JDL) 入社
平成 24 年 4 月 JDL 総務部 課長 (現任)

以上

《参考》

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
【資産の部】	
流動資産	3,034,982
固定資産	12,371,357
有形固定資産	11,154,741
無形固定資産	59,828
投資その他の資産	1,156,786
資産合計	15,406,339
【負債の部】	
流動負債	4,576,503
固定負債	10,366,613
負債合計	14,943,116
【純資産の部】	
株主資本	
資本金	4,200,000
資本剰余金	8,880
資本準備金	8,880
利益剰余金	△ 3,745,656
繰越利益剰余金	△ 3,745,656
純資産合計	463,223
負債・純資産合計	15,406,339

損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額
事業収益	8,827,810
事業費	8,532,530
売上総利益	295,280
販売費及び一般管理費	348,379
営業利益	△53,099
営業外収益	414,306
営業外費用	174,158
経常利益	187,048
特別損失	19,779
税引前当期純利益	167,269
法人税、住民税及び事業税	2,268
当期純利益	165,001